



葵区 身体障害者向け安全運転教室

県身体障害者福祉会は6日、身体障害のある人たちが日ごろの自動車運転について見直すための安全運転教室を、静岡市葵区の県自動車学校静岡校で開いた＝写真＝。県中部を中心に20人が参加し、交通ルールや自らの運転技術を再確認した。

講習で同校の教官は、ドライバーが「認知」「判断」「操作」の3段階を繰り返して自動車を運転しているとして、認知ミスに起因する事故が約8割に上ることを解説した。飲酒が運転に及ぼす影響も説明し、「いつも飲んでいる酒の量を計算し、どの時間までに飲酒をやめるか考えて」と呼び掛けた。

教習コースを使った実技指導や適性検査も行い、参加者は運転時の注意点を見つめ直した。